

生体内の微小環境情報に基づいた物性制御による 環境応答型インテリジェントナノDDSの創成 キックオフシンポジウム

日時：2013年10月24日（木）13：30～17：10

会場：京都薬科大学 愛学ホール（A31講義室）

本研究プロジェクトは、疾患組織の微小環境情報に基づいた疾患部位特異的な革新的なインテリジェントナノDDS（薬物送達システム）の創成を目的としています。これまでに、腫瘍微小環境特性とそれに基づくDDSが数多く報告されていますが、肥満・消化器疾患・炎症・感染症に関する研究はほとんどありません。本プロジェクトが目指すインテリジェントナノDDSは、多様な病態・疾患に個別適用可能な新しい薬物治療法の開発に繋がることが期待されます。

13：40～14：00 プロジェクトの概要について

研究代表者：小暮健太郎（薬品物理化学分野・教授）

14：00～14：25 特別講演（1）

「機能性ナノ粒子の製剤設計」

Functional Engineered Nano-sized Particles」

尾関哲也（名古屋市立大学大学院薬学研究科 薬物送達学分野・教授）

14：25～15：20 一般講演（1）「疾患微小環境の特異的性質の探索」

加藤伸一（薬物治療学分野・教授）

後藤直正（微生物・感染制御学分野・教授）

北村佳久（病態生理学分野・准教授）

奈邊 健（薬理学分野・准教授）

濱 進（薬品物理化学分野・講師）

15：20～15：35 休憩

15：35～16：00 特別講演（2）

「腫瘍内微小環境の能動的制御に基づくDDSの開発」

石田竜弘（徳島大学大学院HBS研究部 薬物動態制御学分野・准教授）

16：00～16：25 一般講演（2）「微小環境応答性インテリジェントナノDDSの開発」

武上茂彦（薬品分析学分野・准教授）

草森浩輔（薬剤学分野・助教）

16：25～17：10 一般講演（3）「疾患微小環境におけるナノDDSの機能性評価」

藤室雅弘（細胞生物学分野・教授）

西口工司（臨床薬学分野・教授）

齊藤洋平（生化学分野・助教）

西田健太郎（衛生化学分野・助教）

※ 学部学生・大学院生・教職員どなたでも自由にご参加ください。（入場無料）

連絡先：607-8414 京都市山科区御陵中内町5 京都薬科大学 薬品物理化学分野

研究代表者：小暮健太郎

